

王子総合高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組～6組：高橋 慧）（7組：荻原 利幸）

使用教科書：（高等学校「公共」（帝国書院））

教科 公民 の目標： 国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

【知識及び技能】 現代の諸課題を考察し、選択・判断するための概念や理論を理解するとともに、情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、社会参画を視野に構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を考察し、選択・判断するための概念や理論を理解するとともに、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、社会参画を視野に構想したことを議論する力を養う。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	この単元では、青年期における自己と社会のあり方の理解に基づき、社会に参画する自立した主体としてのあり方・生き方について自分の意見を表現することを通じて社会形成とそれに結び付き、みずからのキャリア形成について理解させる。みずからの悩みや体験、個人と他者、対話の重要性などを踏まえた具体的な問いを設定するよう留意する。	第1部 1章 1節 青年期と社会参画 1 私たちの生きる現代社会 2 青年期について考えよう 3 悩むことについて考えよう 4 ジェンダーについて考えよう 5 学ぶことについて考えよう 6 社会参画とキャリアについて考えよう	【知識及び技能】 ①みずからの体験などを振り返ることを通して、みずからを成長させる人間としてのあり方・生き方について理解している。 ②自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、みずからのキャリア形成と共によりよい社会の形成に結び付きについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	この単元では、公共的な空間における基本原則としての日本国憲法の考え方の理解に基づき、個人と社会の関係等について自分の意見を表現することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間と生活の課題を探究することの大切さ等について理解させる。思考実験や概念操作といった抽象的な内容が多いため、現実社会を踏まえた具体的な問いを設定するよう留意する。	第1部 3章 1節 社会の基本原則と憲法の考え方 1 近代立憲主義の原理 2 近代立憲主義の広がり 3 日本国憲法 4 平等に生きる権利 5 自由に生きる権利① 6 自由に生きる権利② 7 人間らしく生きる権利 8 広がる人権の考え方 9 人権保障の国際的な広がり	【知識及び技能】 ①各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解している。 ②人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について日本国憲法を踏まえて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	10
2 学期	定期考査			○	○		1
	この単元では、法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき、身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し、みずからの意見や主張を表現することを通じて、法の意義や司法参加について関心を高めさせる。法や社会規範の役割、法の役割の限界、私法に関する基本的な考え方、裁判員制度などを取り扱うが、理念や制度は抽象的な内容になりがちなので、生徒が考えやすい具体的な問いを設定するよう留意する。	第2部 1章 1節 法の意義と司法参加 1 社会規範と法 2 私たちの生活と法 3 契約の考え方 4 消費者の権利と責任 5 司法の役割 6 刑事裁判とその課題	【知識及び技能】 法や規範の意義および役割、多様な契約および消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法の下、適正な手続きにのっとり、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。①現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した法的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義および役割、多様な契約および消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	この単元では、さまざまな意見や利害を調整するという政治の意義や統治機構のしくみの正確な理解に基づき、よりよい社会を構成するための取り組みについて、自分の意見を表現することを通じて、政治参加と公正な世論の形成、地方自治等について理解させる。学術的な視点や思想的な視点、あるいは現在のしくみの矛盾点を見いだす視点等から、考察する主題を見つけ出し、具体的な問いを設定し、その解決策を考察・構想できるよう支援することに留意する。	第2部 2章 1節 民主社会と政治参加 1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政の役割 4 地方自治の役割 5 政党政治とメディア 6 選挙制度とその課題	【知識及び技能】 ①政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事例や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 ②現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した政治的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6

3 学 期	この単元では、国家主権や国際法によって成立する国際社会の正確な理解に基づき、日本の固有の領土に残る問題の平和的な解決や安全保障、国際連合における国際貢献について、みずからの意見や主張を表現することを通じて、国家主権、領土、日本の安全保障と防衛、国際社会における日本の役割などについて理解させる。国際情勢の変化を踏まえたり、持続可能な開発目標（SDGs）を用いたりして、具体的な問いを設定し、その解決策を考察・構想できるよう支援することに留意する。	第2部 2章 2節 国際政治の動向と平和の追求 1 国家と国際法 2 日本の主権と領土 3 平和主義と日本の防衛政策 4 これからの日本の安全保障 5 国際連合の役割と活動 6 紛争とテロリズム 7 核兵器と軍縮の課題 8 国際協力と日本の役割	【知識及び技能】 ①国家主権、領土（領海、領空を含む）、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 ②現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した政治主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国家主権、領土（領海、領空を含む）、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	この単元では、希少な資源を効率的に配分する市場メカニズムに対する正確な理解に基づき、公正かつ自由な経済活動が行われる社会を構成するための取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割について理解させる。その際、大きく変容する金融の働きや厳しい財政状況など現実社会を踏まえた具体的な問いを設定し、その解決策を考察・構想できるよう支援することに留意する。	第2部 3章 1節 市場経済のしくみ 1 経済とその考え方 2 市場のメリットと限界 3 企業の目的と役割 4 金融の役割 5 政府の役割と財政の機能 6 日本の財政の課題 7 経済の変動	【知識及び技能】 ①市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることおよびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ②現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社	○	○	○	6
	この単元では、変化する産業構造と労働のあり方、社会保障の意義と課題に対する正確な理解に基づき、国民福祉の向上に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について理解させる。進行する少子高齢化や技術革新の急速な発展などの社会変化を踏まえた具体的な問いを設定し、その解決策を考察・構想できるよう支援することに留意する。	第2部 3章 2節 豊かな社会の実現 1 産業構造の変化と職業選択 2 中小企業と農業 3 労働者の権利 4 雇用と労働に関する課題 5 社会保障の役割と意義 6 社会保障制度の課題	【知識及び技能】 ①職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること、およびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ②現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れたが、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 53